

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	男女共同参画センター管理運営			シート番号	007-042
担当部署名	市民人権	局	男女共同参画推進	部	男女共同参画センター
				課	評価責任者(課長名)
					瀧口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	5	男女共同参画の推進	無
	2	事業開始年度	昭和 55 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	男女共同参画社会基本法・堺市男女平等社会の形成の推進に関する条例			
	4	関連計画	第4次男女共同参画基本計画・第4期さかい男女共同参画プラン			
5	事業実施の経緯	男女共同参画社会の実現に向けて、市民が学習により資質・技術・文化を高め女性の地位向上と社会参画を図るものとして、当センター設立当初からサカイレディスアカデミーを開講するなど、発展的・継続的に男女共同参画推進に係る事業を実施してきた。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (男女共同参画センター) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	堺市在住・在勤・在学の市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	固定化された男女の役割にとらわれず、その個性と能力を十分に発揮するとともに、あらゆる分野において男女が対等に参画できる男女共同参画社会の実現を図る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>男女共同参画社会の実現を目的に、人権問題やDV・児童虐待防止対策などの講演会やシンポジウム等を実施するとともに、市民の自己研鑽・自己実現に向けた講座や、地域社会のリーダーとして参画・活躍するための学習等を行う。また、子育て中でも講座を受講しやすいように託児環境も整えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺自由の泉大学(市民啓発講座・市民啓発コース別講座・地域社会リーダー養成実践コース・サテライト講座・託児など) コクリコさかいのつどい(昭和55年9月開館を記念した啓発事業。人権問題をテーマにしたひとり芝居を実施) 女と男のエンパワメント講座(エンパワメントを図るための講座。料理講座や包丁研ぎ講座、古墳講座などを実施) パパ&子どもの親子クッキング(働く母親の家事負担の軽減を目的に、父親と子どもを対象とした料理教室を実施) <p>女性の人権相談や弁護士相談をはじめ各種相談業務を行う。</p> <p>その他、貸館業務や図書の貸出、啓発事業など</p>			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 株式会社セルボ彩				

Ⅲ. 投入量

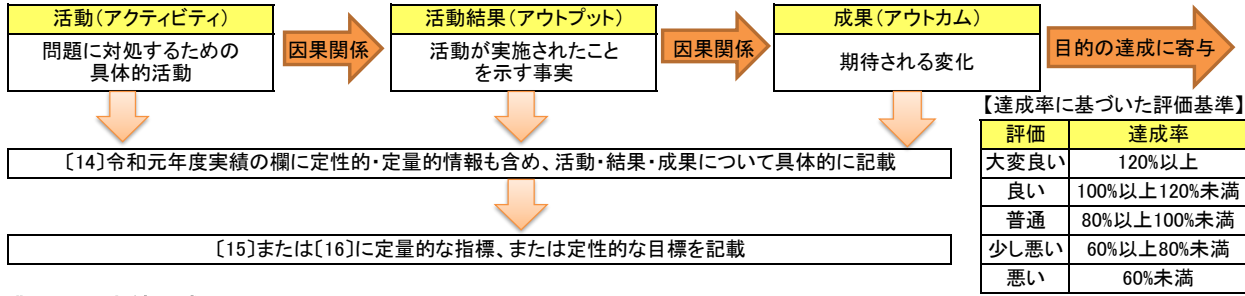
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	81,983	85,517	128,373	115,612	127,002	122,620	119,618
主な事業費内訳								
堺自由の泉大学	千円	58,012	58,012	58,012	58,012	64,085	62,860	63,931
男女共同参画センター相談業務	千円	5,077	5,077	5,077	5,077	5,561	5,555	5,623
堺市男女平等推進活動補助	千円	2,000	2,000	0	0	0	0	0
改修工事等	千円		2,484	32,300	26,555	32,478	34,882	26,895
財源内訳								
国・府支出金	千円							586
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円	181	173	197	126	197	146	197
市債	千円	0	0	17,100	15,200	22,800	0	8,900
その他(講座一部負担金・光熱水費徴収金他)	千円	8,417	7,586	7,530	7,617	7,529	7,308	7,734
一般財源	千円	73,385	77,758	103,546	92,669	96,476	115,166	102,201
12 人件費 (b)	千円	39,800	39,800	39,700	39,700	39,400	43,900	46,000
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	121,783	125,317	168,073	155,312	166,402	166,520	165,618

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	男女共同参画センター管理運営	シート番号	007-042
-------	----------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

事業の活動実績や成果

		令和元年度実績						
活動実績と成果	14	<p>堺自由の泉大学をはじめとする各種講座を実施した。令和元年度の1年間で、延べ66,057人の堺市民が受講した。受講された堺市民にアンケートを行った結果、「夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである」という考え方に反対する人の割合が女性が87.1%で男性83.8%となり平成27年度の堺市調査の平均値(女性54.8%、男性45.4%)を大きく上回っている。</p> <p>【講座数、受講者数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 堺自由の泉大学 (講座数等1,734回、受講者数65,633人 ※2月後半以降新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から休講) 内訳 市民啓発講座 108回(内サテライト講座12回)、24,941人(内サテライト講座1,373人) 市民啓発コース別講座 693回、8,956人 地域社会リーダー養成実践コース 884回、25,600人 その他補講など 49回、6,136人 ・コクリコさかいのつどい(講座数1回、受講者数283人) ・女と男のエンパワメント講座(講座数5回、受講者数110人 ※6回実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から1回未実施) ・パパ&子どもの親子クッキング(講座数1回、31人) <p>男女共同参画センター相談を年間通して実施した。令和元年度の1年間で、延べ2,051件の相談があった。主訴別では、DV・子ども虐待の相談が559件と最多で、次いで女性差別の相談510件、法律相談419件となっており、重大な人権侵害とみられる相談が多く、相談窓口の役割は大きいと考えられる。その他、貸館業務、図書の出貸(815冊)、男女共同参画週間の懸垂幕の掲出など</p>						
		15	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			「堺自由の泉大学」・自主事業の延べ受講者数	人	目標値 100,000 実績値 78,079 達成率 78% 評価 少し悪い	80,000 76,354 95% 普通	80,000 66,057 83% 普通	40,000
			算出方法・設定根拠など 受講者数から算出・令和2年度は感染症対策により講座の定員や回数を削減するため目標値を変更					
		16	指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			「夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである」という考え方に反対する人の割合	%	目標値 男女とも90% 実績値 女性82.1%男性66.7% 達成率 女性91.2%男性74.1% 評価 女性普通・男性少し悪い	男女とも90% 女性82.1%男性66.7% 女性91.2%男性74.1% 女性普通・男性少し悪い	男女とも90% 女性87.1%男性83.8% 女性96.7%男性93.1% 普通	男女とも90%
			算出方法・設定根拠など 堺自由の泉大学受講生アンケートの集計により算出。さかい男女共同参画プラン目標値90%(令和3年度)					

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	「堺自由の泉大学」・自主事業の延べ受講者数	人	78,079	76,354	66,057
	②	上記①にかかる年間経費	千円	66,049	66,514	72,039
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	846	871	1,091
		備考(算出についての説明等)	堺自由の泉大学・自主事業にかかる委託料、講師等謝礼金及び人件費。			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	男女共同参画センター相談件数	人	2,222	2,156	2,051
	②	上記①にかかる年間経費	千円	6,487	6,422	7,580
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,919	2,979	3,696
		備考(算出についての説明等)	男女共同参画センター相談にかかる委託料及び人件費。アンケート経費の確定が難しいため相談事業で効率性を測った。			

業績の分析

19	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月後半から講座を中止しており、昨年度より人数が減少している。性別にかかわらず幅広く受講生等を募集するため、これまでの広報誌やホームページ、チラシ以外の周知方法を検討し実施する必要がある。</p> <p>また、「夫は外で働き、妻は家庭をまもるべきである」という考え方に反対する人の割合は、男女とも前年度から増加している。特に男性の増加割合は顕著で、意識が大きく改善しており、男女共同参画に関する講座や啓発事業をとおして意識改革が進んだものと考えられる。今後は、男女共同参画をはじめとする人権意識を高めた受講生が地域に関わり、身につけた意識や行動を広めるなど、さかい男女共同参画プラン目標値(90%)に向けた取組が必要である。</p>

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうだったか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	男女共同参画センター管理運営	シート番号	007-042
-------	----------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 男女共同参画社会の実現は、我が国社会を決定する最重要課題と位置付けられている。男女格差を国別に比較したジェンダーギャップ指数は世界153か国中、日本は121位と低い順位である。本市においても固定的性別役割分担意識は根強く残っており、政策など立案の場における女性の割合も低い。ジェンダーにもとづく偏見や不平等はDVや虐待などの社会問題にも影響があり、男女共同参画社会の実現に向けた学習の場の提供は重要である。廃止された場合は啓発や意識改革の機会が失われる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 国の方針や、社会情勢からみても男女共同参画社会の実現に向けた学習の場の提供は重要である。休止された場合は、男女共同参画の啓発や意識改革の機会が失われる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座の実施回数を減少させ、謝礼金等について縮減を図る。次年度以降については、感染症の状況を踏まえ検討していく。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 施設管理として、手指消毒液の設置や、各部屋の定員の設定、換気の徹底を図っている。 受講生には、塚スタイルの啓発など、感染防止対策に向けた講座等を実施する予定。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他()	理由・説明 塚自由の泉大学事業等は公募型プロポーザル方式により民間事業者へ運営委託しており、講座運営時に市民協働による手法をとるなど工夫している。 Web上での申し込みや、SNSを活用した広報活動などを検討していく必要がある。 各関係部局と連携し、男女共同参画の推進をはじめ、塚市の環境や文化の取組など、市民の知識となる講座を実施している。 内閣府主催の情報交換会や政令指定都市男女共同参画センター意見交換会など、情報共有を行っている。内閣府の男女共同参画週間に合わせて、啓発活動を実施するなど連携している。 全国女性会館協議会に加盟することにより全国の男女共同参画センターとネットワークを形成している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 男女共同参画推進課と連携のもと、より効果的に事業を実施する。各局・区との連携の強化や、企業や大学等とのネットワークの構築を進めるなど、多角的な視点で多様な市民ニーズをとらえらるとともに、男性受講生の増加を図るなど、さらに利用者層を広げていく。		